

亀岡市上下水道ビジョンの基本理念と目指す将来像

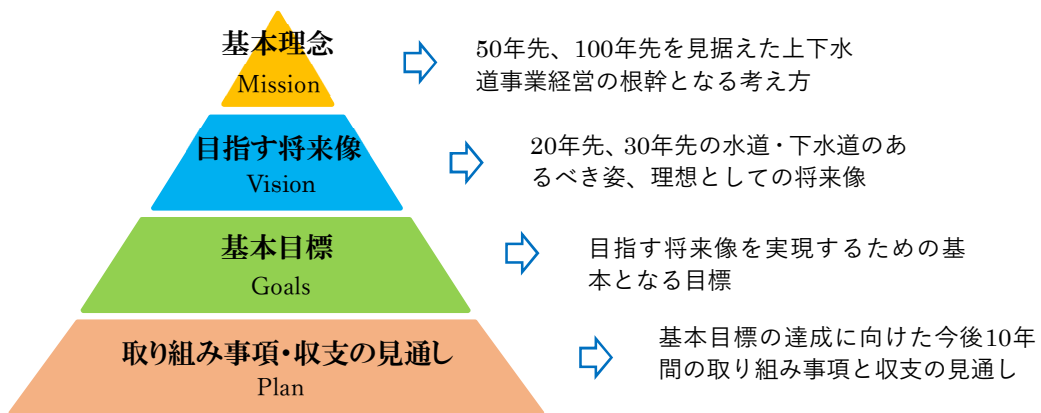
2020-10-29 経営審議会用

1 ビジョンの組み立て

亀岡市上下水道ビジョンでは、50年先、100年先を見据えた基本理念のもとで、20年先、30年先に亀岡市上下水道事業が目指す将来像を描き、その目指す将来像を実現するための基本目標を定めます。

さらに、基本目標の達成に向けた今後10年間の取り組み事項や収支の見通しを示すことで、亀岡市上下水道事業が進むべき方向を明らかにしていきます。

亀岡市上下水道ビジョンの組み立て



2 基本理念

安心と信頼を未来につなぐ亀岡の上下水道 — おいしい水と循環のみち —

基本理念は、50 年先、100 年先を見据えた亀岡市上下水道事業の存在意義や使命、価値観といった企業経営の根本となる考え方を市民や関係者の皆さま、そして社会に表明するものです。

蛇口から出るおいしい水、快適な水洗トイレ、清潔で美しいまち…。60 年の歳月を経て、本市の水道・下水道は多くの皆さまに安全で快適な暮らしを「あたりまえ」に提供できるようになりました。

私たちにとってあたりまえの安全な水や水洗トイレも、世界に目を向けると、22 億人が水道のない暮らしを、7 億人がトイレのない暮らしをしているという現実があり、SDGs（持続可能な開発目標）の 17 のゴールのひとつに『安全な水とトイレを世界中に』が掲げられています。

SDGs の理念のもとに、本市の水道・下水道がこれからも「あたりまえ」であり続けることで皆さまに「安心」をお届けし、皆さまの「信頼」にお応えするとともに、亀岡の美しい自然が育んだ「おいしい水道水」を守り、下水道がもつ水・資源・エネルギーの「循環のみち」としての可能性に挑戦することで、輝かしい「未来」を切り拓いていくという決意を込めて、亀岡市上下水道事業の基本理念を定めます。



SDGs（エスディー・ジーズ、Sustainable Development Goals）は、誰ひとり取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標で、2015 年の国連サミットにおいてすべての加盟国の合意で定められました。2030 年を達成年限とする 17 のゴールと 169 のターゲットから構成されています。

3 目指す将来像

基本理念のもと、20～30年先の上下水道の目指す将来像を描き、その実現に向けて着実に取り組みを進めることとします。

『安全でおいしい水を配り、下水を集めて処理すること』（安全・快適）、『災害に強い施設をつくること』（強靱）、『安定した経営を維持し、高品質なサービスを提供すること』（持続）、『健全な水循環を維持し、循環型社会の構築に貢献すること』（環境）の4つがそろってこそ安心が生まれ、信頼される水道・下水道となります。

いつも、いつまでも安心をお届けし信頼される水道・下水道であり続けることを願い、これら4つの言葉をキーワードとして目指す将来像を描きます。

4つのキーワードと目指す将来像

安全・快適

おいしい水道水を配り、下水を排除し処理することで、お客さまに安全と快適をお届けします。

強靱

災害の時にも役割を果たし続ける強靱な水道・下水道をつくります。

持続

効率のよい安定した経営を維持し、お客さまのライフスタイルにあった質の高いサービスを提供します。

環境

健全な水循環を維持するとともに、地球環境に配慮し、循環型社会の構築に貢献します。

安全・快適

おいしい水道水を配り、下水を排除し処理することで、お客さまに安全と快適をお届けします。

○ いまは…

上下水道事業に着手して約 60 年を経て、多くの地域で多くの皆さまにおいしい水を配り、下水を集めてきれいにするので、安全と快適をお届けできるようになりましたが、一方では水道管をはじめとする施設の老朽化が急速に進んでいます。

○ これからは…

老朽化した施設を更新することなどにより、水道・下水道がもつ基本的な役割をしっかりと維持し、さらに機能を高めることで、これからも皆さまの安全で快適な暮らしや地域の経済を守り続けます。



○ 2045 年には…

- 点検・劣化診断から修繕、改築更新までのライフサイクル全体にわたる効率的な施設管理システムのもとで、水道管をはじめとする施設の更新が計画的に進んでいます。
- ICT の進歩により配水管網のエリアごとに水量を遠隔で監視し制御することができるようになり、漏水などの異常や事故に迅速に対応できる信頼性の高い水道システムになっています。
- 河川改修にあわせて下水道による雨水排水の整備や雨水貯留槽の設置などが進みつつあり、市街地の浸水被害が軽減されるようになってきています。

強 韌

災害の時に役割を果たし続ける強靱な水道・下水道をつくります。

○ いまは…

地球温暖化による気候変動により台風や豪雨は激しさが増してきていますが、いまはまだ想定される大地震やスーパー台風、集中豪雨などに耐え、役割を果たし続ける水道・下水道にはなっていません。

○ これからは…

災害が発生したときにも皆さまの生命や財産が守れるよう、重要な施設から順に大地震や大雨に耐えられる強靱な施設に造りかえていくとともに、被害の影響を最小限に抑え、迅速に復旧できる仕組みをつくっていきます。



○ 2045年には…

- 基幹的な水道管および病院、学校や主要な避難所などに至る水道管の耐震化が進み、万が一の場合には、これらの拠点施設で応急給水が可能となっています。
- 周辺自治体や関係団体との連携や支援の体制も一段と充実し、市民の皆さまに災害時の情報を迅速、確実にお届けできる仕組みができています。

持続

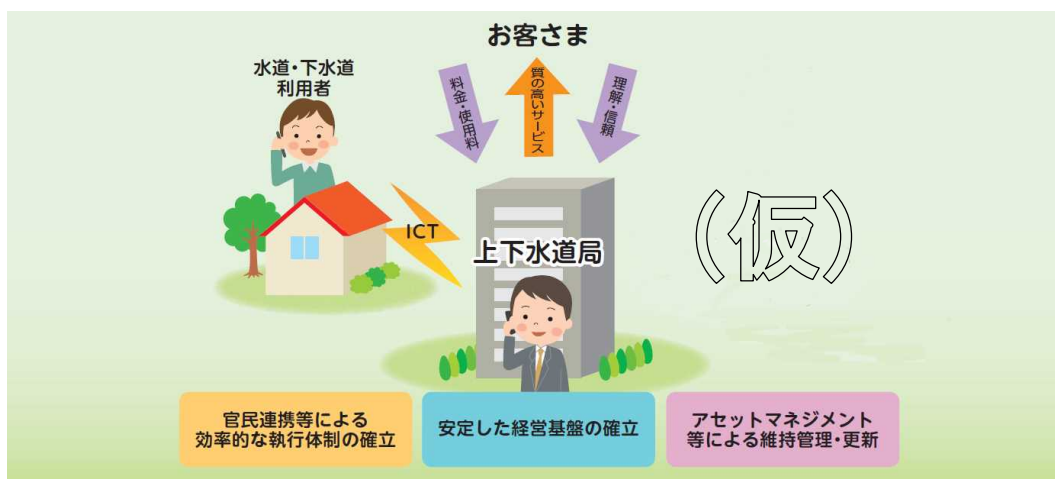
効率のよい安定した経営を維持し、お客さまのライフスタイルにあった質の高いサービスを提供します。

○ いまは…

水道・下水道が「造る時代」から「維持する時代」に移り変わり、少子高齢化の進展や ICT の進歩などによって私たちの生活や働き方も変化しつつあるなかで、上下水道事業のサービスや経営のあり方も変えていかなければなりません。

○ これからは…

ICT を活用した迅速で的確な情報発信や、お客さまのライフスタイルにあった料金の仕組みに変えることなど、多様で質の高いサービスを提供していきます。また、適正な料金負担のもとで効率的な経営を行うことにより、これからも皆さまとともに歩む信頼される水道・下水道であり続けます。



○ 2045 年には…

- スマートメーターの導入で検針が自動化し、使用水量や料金の見える化が進んでいます。これにより、お客さまの宅内の漏水を早期に発見することができるようになりました。また、高齢者などの見守りにも活用されています。
- ICT の活用により、断水などの情報の入手や各種問い合わせなどが、スマートフォンなどからいつでも簡単にできるようになっています。また、お客さまとのコミュニケーション手段も充実し、経営に反映されています。
- 人口の減少などにより水需要は 25 年前の 3 割減にまで落ち込んでいますが、公平で公正な料金の仕組みのもとでの適正な料金により施設更新の財源が確保でき、安定した経営ができています。
- 施設の統廃合やダウンサイジング、施設マネジメントの取り組みが進んだことにより、施設の利用効率が上がり、維持管理費用が削減できています。

環境

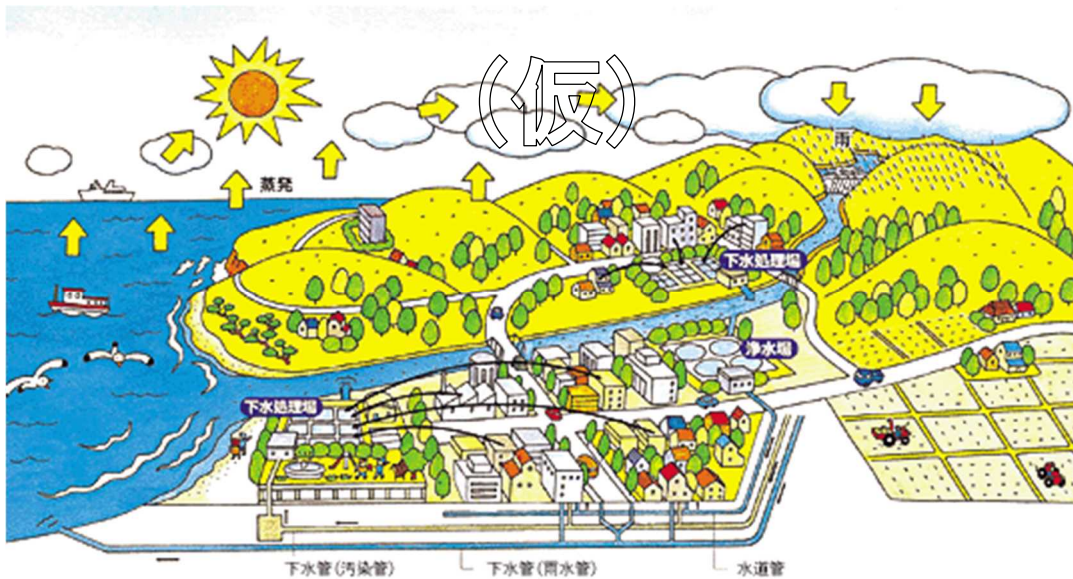
健全な水循環を維持するとともに、地球環境に配慮し、循環型社会の構築に貢献します。

○ いまは…

下水道が整備されたことで市内の河川や大阪湾の水質が改善し、水辺の環境も回復しつつあります。また、消化ガス発電などの地球環境に配慮した取り組みも徐々に進みつつあります。

○ これからは…

これからも、河川の水質改善を通じ健全な水環境を維持するとともに、地球環境に配慮した脱炭素の取り組みを進めます。さらには、下水道がもつ地域資源やエネルギーの再生・循環の機能を活かすことで、循環型社会の構築に積極的に貢献していきます。



○ 2045年には…

- 下水道の100%普及や処理施設の高度処理化が進んだことにより、水辺の自然や健全な水循環が維持され、街中にもホテルが飛び交っています。
- し尿や浄化槽汚泥、生ごみ、食品残渣などを資源として下水道で受け入れができるようになりました。下水道施設を核とした地域資源やエネルギーの循環のまちが実現しようとしています。
- 多くの人々がマイボトルを持ち歩いています。市内のいたる所においしい水道水の給水スポットが設置され、ペットボトルの削減に役立っています。

4 基本目標

4つの目指す将来像のもとで、その実現に向けた今後の取り組みの基本となる9つの目標を次のとおり定めます。

基本理念	キーワード	4つの将来像	9つの基本目標
安心と信頼を未来につなぐ 亀岡の上下水道 ― おいしい水と循環のみち ―	安全・快適	おいしい水道水を配り、下水を排除し処理することで、お客さまに安全と快適をお届けします。	安全でおいしい水の安定供給
			下水道による快適な生活の実現
	強靱	災害の時にも役割を果たし続ける強靱な水道・下水道をつくれます。	災害に強い強靱な施設の整備
			危機管理体制の強化
	持続	効率のよい安定した経営を維持し、お客さまのライフスタイルにあった質の高いサービスを提供します。	お客さまサービスの充実
			持続可能な経営基盤の強化
			効率的な事業経営の推進
	環境	健全な水循環を維持するとともに、地球環境に配慮し循環型社会の構築に貢献します。	健全な水循環と地球環境への配慮
			循環型社会の構築への貢献